

附属学校

中央大学高等学校

■ 修学旅行～in 台湾～

3月4日(月)～8日(金)の4泊5日で修学旅行に行ってきました。初日は羽田空港から、松山空港(台湾)に入り、さらに台湾新幹線に乗って、台南に行きました。海外での新幹線乗車経験は新鮮だったようです。2日目は烏山頭国家公園や八田興一記念碑などを回り、夕食は郷土料理に舌鼓を打ちました。3日目は台南から台北に移動し、九份にて街並みを散策。4日目は今回の最大のイベントとして台湾の淡江高級中学と学校交流を行いました。歓迎セレモニーに始まり、両校代表の挨拶、各代表によるパフォーマンス、グループ交流など盛り沢山の内容でした。住んでいる国こそ違いますが、お互い高校生同士、言葉の壁はあるもののすぐに打ち解け、楽しい思い出をたくさん作ることができました。その後、台北市内を自主研修し、5日目台北市内にある忠烈

祠、故宮博物院を視察して終了。沢山の思い出と沢山のお土産を持って帰ることができ、2年生最後の行事の締めくくりとして最高なものになりました。

■ 高校生キャリア講座

3学期終業式に高校生キャリア講座の発表を行いました。高校生キャリア講座とは森永製菓、東芝、富士フィルム、三菱化学エンジニアリング、博報堂などの企業が、ファシリテーターとなって「社会の課題を発見し、その問題を解決する」というテーマで、お互いの考えやアイデアを形にするというものです。参加したのは2年生と3年生の代表6チームで「日本をもっと好きになろう」や「ジェネレーションバリアフリー」など高校生ならではのアイデアをもとに個性あふれる発表がなされました。生徒たちにはこの経験をもとにして、さらに社会に対する問題意識を深め、自身の進路に役立ててほしいと思います。



(上)2年生の修学旅行、台湾、忠烈祠にて



(下)キャリア講座の様子

中央大学杉並高等学校

■ イギリス・オックスフォード研修

2月17日(日)～3月4日(月)にかけて、48期生3年生対象のイギリス・オックスフォード研修が行われました(右写真)。本研修では、800年の歴史を刻むオックスフォード大学Unionで、英国の歴史・教育・哲学・法律といった分野を学び、オックスフォード大学生とのセッションなど、ここでしか学べない体験がたくさんありました。初めは、緊張したり戸惑っていたりしていた生徒たちも、徐々に積極的に自分の意見を述べるようになり、研修の最後には、それぞれのテーマごとに、自分たちで学んだことをプレゼンテーションするに至りました。

英語ができることがゴールではなく、英語はツール。この経験を活かして、英語を使って何かができるという、国際社会で通用する社会人になるべく、充実した大学生活を送ってほしいと思います。

■ 3年生の東京都内研修

4月23日(火)・24日(水)に、49期生の都内研修が行われました。生徒たちは7つのグループに分かれ、JAXA 筑波宇宙センター・JICA・ゼンショーHD・東京地方裁判所・東京都庁・東京証券取引所(右下写真)・日本銀行・JAL・富士通・セキスイハイム・第一三共・読売新聞・博報堂を訪れました。この研修を通して、最先端の研究に挑む人、世界を舞台に活躍する人、正義のために努力する人、経済を必死に支える人、人の暮らしを便利にする工夫を考える人、メディアのなかで輝く人に出会いました。生徒にとっては、出会うすべての人が、熱い思いを抱きながら仕事をする社会人の先輩です。「今を大切に、一生懸命努力してほしい!」という先輩の言葉に、自分のなかの「成長したいと願う自分」に出会えた生徒も多かったようです。



(上)イギリス・オックスフォードにて



(下)東京証券取引所にて

中央大学附属中学校・高等学校

(上) 中学1期生の参加による国際交流プログラム(下) 高等学校の入学式



■オーストラリア交流プログラム

3月16日(土)に中学1期生の卒業式を挙行し、163名の卒業生が巣立っていきました。3月20日(水)より10日間の日程で、中学1期生26名の参加により、第1回オーストラリア交流プログラムが実施されました。スコッチカレッジアデレード校を訪問しホームステイ(3泊)をしながら生徒同士の交流を深めることができました。シドニー滞在中は、郊外のブルーマウンテンズ国立公園で自然に触れ、アボリジニ文化の学習施設訪問や牧場体験等により、歴史や文化などについていっそう深く学ぶことができました。中学生を対象とした初の国際交流プログラムは成功裏に無事終了しました。

■中学1年生オリエンテーション旅行

新入生181名を迎え、4月19日(金)・20日(土)に富士五湖周辺で1泊旅行を実施しました。飯盒炊爨・カレー作り、スポー

ツ大会で、生徒同士の親睦を深めることや集団行動のマナーを学ぶことができました。また、ガイドウォークにより、様々な自然を体験しました。

■高等学校の新たなステージ

2013年度高校入試の募集定員は、附属中学校からの内部推薦生徒の受け入れにともない、半分近くに減りました。1月22日(火)の推薦入試、2月10日(日)の一般入試ともに倍率が跳ね上がり激戦となりました。この難関入試に見事に合格した211名と附属中学からの初の内部進学生160名が4月6日(土)に揃って入学式を迎え、高等学校は新たなステージを迎えました。入学式では中高の吹奏楽部が初の合同演奏で祝福するという微笑ましい光景も見られました。激戦入試を突破した「高入生」の自負心と、「内進1期生」のパイオニア精神とが良い意味でぶつかり合い、互いを高め合っていくことを期待しています。

中央大学附属横浜中学校・高等学校

(上) 新校舎落成記念式典



(下) 読売新聞に掲載されたボランティアの記事



■新校舎落成記念式典

2011年11月より建設を進めていた新校舎が完成し、2013年4月1日新校舎「中央大学附属横浜中学校・高等学校」と改称し新校舎での新たな教育活動をスタートしました。4月6日(土)の入学式では激戦の入学試験を勝ち抜いた中学(男子96名、女子108名) 204名、高校女子193名(内部進学生108名を含む)の新入生を迎えることが出来ました。2014年度入試では、中学に続いて高校で男女共学を開始する予定です。4月13日(土)には新校舎落成記念式典を本校体育館で開催し、大学・学校側からは足立理事長、福原総長・学長、三枝校長が参加し、来賓には神奈川県私学振興課長・横浜市都筑区長・神奈川県私立中高協会理事長をはじめ多くの地元関係者、企業関係者をお迎えしました。式典では大学側からの式辞、来賓からの祝辞の後、本校生徒会長が生徒を

代表して誓いの言葉を述べ、続いて吹奏楽部による中央大学校歌演奏で式典を締めくくりました。

■ボランティア活動

本校の陸上部の生徒たちが朝の30分間学校正門前からセンター北駅前まで約500メートルの通学路と学校の周囲を清掃しています。この取り組みが読売新聞に掲載されました。

詳細はこちらから
http://www.yokohama-js.chuo-u.ac.jp/_mtsite/topic/news/000878.html

■2014年 高校共学化

2012年度より中学校が先行していた男女共学化が2014年度高等学校でも開始されます。6月1日(土)に開催された「第1回中学説明会」には、2,300名の来場者がありました。2014年度入試では高等学校の共学化も含め、多くの受験生の注目を集めることになりそうです。